

令和2年

8/7 (金)~9/22 (火・祝)

開館 9:00~16:30

(年中無休・入館無料)

会場:みほしるべ1階展示室内

令和2年度企画展II

能「羽衣」の

三保松原を舞台に作られた能「羽衣」の
演目で使用されている能面や能装束等を
展示します。

世界



能「羽衣」宝生流能楽師シテ方 佐野登氏
撮影:坂本光則氏



能「羽衣」の世界

令和2年

8/7(金)~9/22(火・祝)



能「羽衣」は、室町時代に成立して以降、数百年以上演じ続けられてきた能の演目です。その物語は、漁師が松に掛かる羽衣を見つけ国の宝にしようとするも、悲しむ天女を見て舞を見せてもらうことを条件に返し、天女は三保松原と富士山の美しい景観を背景に舞を舞いながら天に帰るといっても清らかなストーリーになっています。

三保松原は古来より歌枕に詠まれる景勝地であり、平安時代には三保からほど近い有度浜の天人伝説に由来する東遊びの駿河舞が都で上演されるようになり、三保松原の周辺は天人伝説の舞台として知られていました。能「羽衣」は、駿河舞による天女のイメージや、各地の羽衣伝説など様々な要素をあわせ三保松原を舞台に作られたのではないかと考えられています。

今回の企画展では、能「羽衣」の場面写真や演目で用いられる貴重な能面・能装束等を展示しその魅力を紹介します。

東京能楽囃子科協議会定式能 三月昼能 能「羽衣 盤渉」
(2019年3月13日) / 宝生流能楽師シテ方 佐野登 / 撮影:新宮夕海



能面(泣増)



中啓



天冠(月)

※すべて宝生流能楽師シテ方 佐野登氏蔵

会期中のイベント

関連講演会 能「羽衣」の魅力

能「羽衣」は数ある演目の中でどのような存在か、演目の特徴や魅力を解説します。

日時：8/16(日) 14:00~15:30

講師：宝生流能楽師シテ方 佐野登氏

会場：みほしるべ2階会議室

定員：25人 ※当日、直接会場へ(無料・先着順)

能「羽衣」クイズに挑戦!

企画展やみほしるべ館内の展示を見てクイズの答えをさがそう!参加者には記念品をプレゼントします。

日時：企画展開催中の土日祝日 各日9:00~15:00受付

場所：みほしるべ1階総合案内

対象：各日30名(無料・先着)

※新型コロナウイルスの影響により予定が変更になる場合があります。
また、御来館の際はマスクの着用・手指の消毒等感染症予防対策に御協力ください。



イベントの最新情報は
公式サイトをご覧ください。

みほしるべ
イベントカレンダー



保全活動はいつでも受付中!

みほしるべでは、年中無休で松原保全活動の申込みを受付けています。

[保全活動について](#)



ミュージアムショップで限定商品販売中!

ここでしか買えない三保松原にちなんだ商品や地元クリエイターのお土産などを販売しています。



開館 9:00~16:30(年中無休・入館無料)

【JR】
静岡駅から清水駅まで電車約13分
清水駅から三保方面行きバス約25分
「三保松原入口」下車徒歩約15分

【静岡鉄道】
新清水駅から三保方面行きバス約20分
「三保松原入口」下車徒歩約15分

【車】(駐車場173台)
清水ICから約25分
静岡ICから約35分
日本平久能山スマートICから約25分